

活動紹介

= 夏休み子ども早朝観察会 =

今回で10回目を迎えた夏休み子ども早朝観察会が、夏休みに入って最初の日曜日に行われました。早朝7時過ぎにビジターセンターを出発し、観察展望棟まで様々な自然を観察しながら歩きました。蜘蛛の巣にかかって捕食されているギンヤンマや大きなヘビの抜け殻を発見し驚きの声があがりました（右端写真）。涼風が吹く観察展望棟に上がり休憩した後、園外に出て昆虫採集の時間です。大人も子どもも夢中になって網を振り回しトンボを追いかけていました。色々な種類のトンボやバッタはみんなで観察したあと解放しました。帰りはクイズを解きながら楽しくビジターセンターに向かいました。

最近ではあまり経験できなくなった夏の日の体験が、記憶に残り自然に対する考えが少しでも深まればうれしいなと感じた観察会でした。



= 雨の角島大橋 葦の会親睦旅行 =

6月5日、今日は楽しい研修親睦旅行。空は半ベそかいて本格的な梅雨みただけど、そんなのへっちゃら！ 会員13人に友人7人、運転手さんを入れて全部で21人。さあ、行くぞ!! ペちゃくちゃおしゃべりを乗せてバスは一路角島へ。途中トイレ休憩を挟んで10時前、小雨にけむる角島大橋を渡りました。夏の強い日差しを受け、青い海の上を走る、白い流麗な橋の姿を思い浮かべやすい山口人としては、目の前の雨に濡れる角島大橋もまた興をそそられるものがありました。



千畳敷にて

とても良かったのは「つのしま自然館」の整理解説員・藤岡さんの説明でした。こじんまりとした施設ですが地図を広げて説明される内容はとても興味深く「また、来よう」という気持ちになりました。ボランティアとして大切な勉強をさせていただいた思いがしました。昼食後、いま外国の方々に人気上昇中の元乃隅稻成神社の赤鳥居を見て千畳敷で一休み。香月泰男美術館では画伯の絵を堪能し帰途につきました。

帰りのバスの中でも、今日の感想を話す声とお土産の入ったビニール袋のこすれ合う音で、またまた賑やかでした。